

「卵巢類内膜腺癌の検討」 に関する研究

1、研究の対象

当院において1983年1月より2016年3月の間に当院で初回治療を施行した卵巢癌患者さんが対象となります。

2、研究目的・方法

卵巢癌は組織型が多様であり、またその組織型により予後や化学療法の効果等、治療効果が違うことが知られています。類内膜腺癌は子宮体癌の組織型としては最も頻度が高いものの卵巢癌にも見られ、頻度が低いいためその治療効果や予後等がいまだ不明瞭な部分が多い状況です。そこで本研究では卵巢類内膜腺癌の患者さんの臨床データや手術検体を用いて、予後や治療効果を他の組織型の卵巢癌患者さんと比較検討することを目的としています。研究期間は平成30年4月1日までを予定しております。

3、研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料は過去に当院で採取された手術検体で取得された腫瘍検体であり、情報は通常診療録に記載される情報になります。この研究のために改めて試料・情報を取得することや、侵襲を加えることはありません。取得する情報の内容としては以下の内容になります。

年齢、FIGO病期やTNM分類（病気のひろがりや転移の有無のこと）、治療歴、手術内容、手術時の完全切除の有無、初回治療から再発までの期間、化学療法の奏効率（効果の有無のこと）、化学療法の種類、治療開始から再発までの期間、最終生存確認日（または死亡日）等になります。

また試料については既に摘出された検体を用いて、手術時に作成された病理スライドや未染色スライドへの免疫染色（特殊染色による蛋白等の同定）の追加を行い検討をします。

4、お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 産科婦人科学講座 宮本守員

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話 : 04-2995-1511 (内線 2363)

FAX : 04-2996-5213

研究責任者 :

防衛医科大学校病院 産科婦人科学講座 教授

古谷 健一